

ADDITIVE MANUFACTURING SOFTWARE TOOL



www.coretechnologie.com



4D ADDITIVE

データ修正機能も付いた3Dプリンター用データを出力するソフトウェアです。

4D_ADDITIVEは、様々なフォーマットの3Dデータをダイレクトに読み込み、短時間で最適化した3Dプリンター用のデータを出力します。

サポート フォーマット

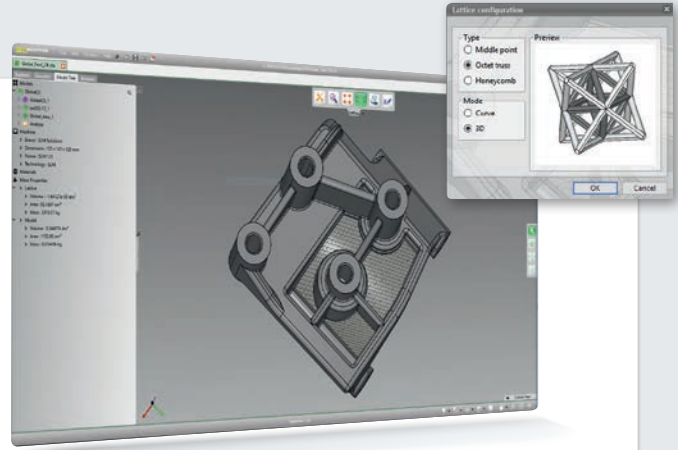
- NX™
 - CATIA®
 - SOLIDWORKS®
 - Creo®
 - JT
 - STL
 - STEP
 - ACIS®
- 等

3Dデータのインポートとデータ修正

4D_ADDITIVEは、シームレスなプロセスで様々なフォーマットの3Dデータをダイレクトに読み込み、データ修正やダイレクトモデリングも簡単に実行できます。

インポートしたデータはヒーリング機能にて自動的にギャップを埋め、重複要素や

ねじれ面、形状エラーを修正します。この機能は、コアテクノロジーが持つ長年の経験と実績からなる優れた機能です。対話モードでは、フィルタ機能による形状エラーの特定や、クリーンアップ機能のサポートにより短時間で修正することが可能です。最適化されたデータは様々なソフトウェアに対応可能なAMF、3MF、STL形式にて保存できます。

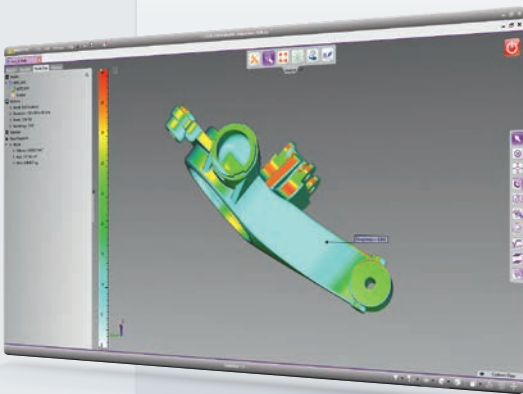


3Dデータの編集

4D_ADDITIVEには強力なダイレクトモデリング機能が備わっており、形状の重要な領域の定義や微小面のマージ、修正を行ない、複雑さを無くすことで、効率の良い処理にて3Dデータを最適化します。またグラフィカルユーザーインターフェースは大変シンプルであり、操作も簡単に行なえます。ユニークな機能の一つにスケーリング機能があります。これは、収縮や歪みを補償するために3つの主軸に沿って異なるモデルに変形することができる機能です。

3Dデータの最適化と検証

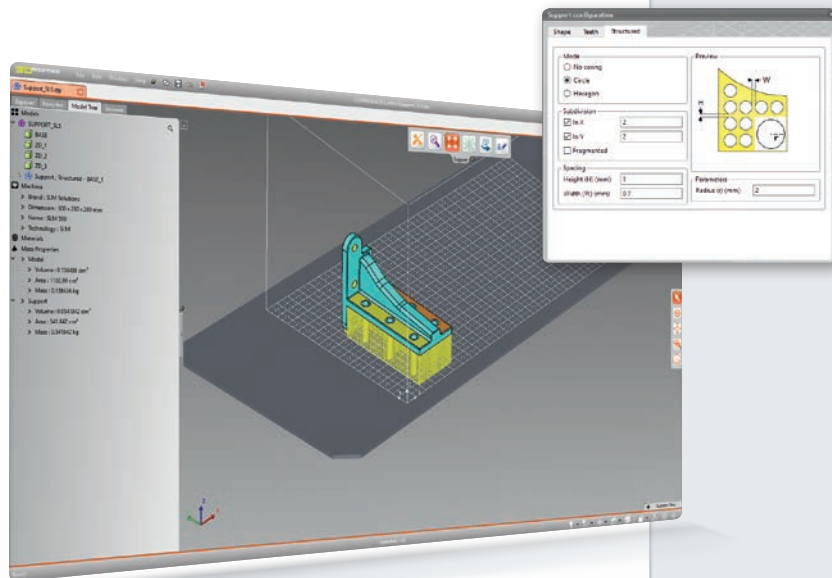
ユーザが定義したパラメータにより、パーツのすべての領域の粗さを予測し、カラースケールで視覚化することができます。パーツを手動、またはシステムによって自動で回転し、表面の粗さを最適化します。



また、測定機能や肉厚チェック機能、クリアランスチェック機能を使用して、製造プロセスにとって重要な領域を分析することができます。干渉チェックや内部ギャップの検証では、問題領域や微小面を検出することが可能です。さらに表面積や体積、梱包ボックスの計算も可能です。

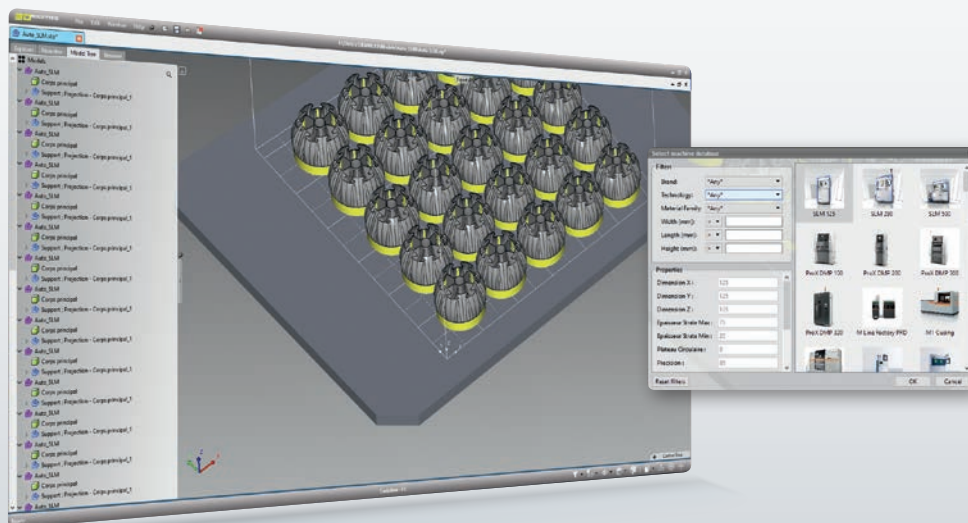
金属3Dプリンター

軽量化や材料の節約に役立つ格子形状だけでなく、サポート(支柱)も簡単に作成することができます。ダイレクトモデリング機能の自由度も高く、格子構造は、ハニカム、オクテットトラス、ミドルポイントから選択できます。



造形プラットフォームのネスティングと最適化

造形空間や材料などの一般的なデータは定義することが可能で、それらは4D_ADDITIVEのデータベースに保存されます。特徴的なネスティング機能は、部品の配置が簡単にでき、造形容積の密度を保証します。また部品の最小数や最小距離の指定、指定した方向に対する部品の最大数を計算するオプションを選択することができます。ボタンを押すと、造形容積が自動的に充填され、プラットフォーム上に最適化された数のコンポーネントを配置することができます。





コアテクノロジー について

コアテクノロジーは、ドイツ、フランス、アメリカ、イタリア、日本、インド、イギリスに拠点を持つ国際的なソフトウェア開発会社です。3D相互運用性の分野において、3Dデータ変換をはじめとしたコラボレーションツールを開発しています。1998年に開発した3D_EVOLUTIONは、CADデータ変換をはじめとして、データ品質検証や品質改善、国際基準による長期データ保管、複合面のオフセット、自動車1台分の干渉チェック等に対応したソフトウェアで、自動車、航空宇宙、機械をはじめとする各業界をリードし、高度な製品開発を行っている。400以上のテクノロジー企業で使用され、エンジニアリングパートナーとして世界各国のお客様をサポートしています。

私たちのミッションは、相互運用性を最適化するための未来志向の開発と、お客様中心の技術である製品ライフサイクル管理の合理化であり、最優先事項は、ソフトウェアはすべてのお客様の要件に適應できるということです。私たちは高度な専門化された自動プロセスを使用しており、常に最新技術から一歩前進しています。

今後、世界をリードする各テクノロジー企業の将来構想や長期計画、今後のデザインプロセスの進化は、3D CAD データに基づくバーチャルリアリティとシミュレーションの果たす役割がますます大きくなるのが分かります。こうした作業は多種多様なシステムで行われるため、相互運用性の最適化こそが、今後の重要課題となります。コアテクノロジーはこうした流れを把握し、さまざまな組織のPLMプロセスの合理化を支援していきます。



www.coretechnologie.com

GERMANY

CoreTechnologie GmbH
Klinger 5
D-63776 Mömbris
Phone: +49 (0)6029 98999-10
info@de.coretechnologie.com

FRANCE

CoreTechnologie Vente
151 Route de Vourles
F-69230 Saint-Genis_Laval
Phone: +33 (0)4 78 61 79 42
info@fr.coretechnologie.com

JAPAN

CT CoreTechnologie Asia Co., Ltd.
〒100-0006 Tokyo
Chiyoda-ku Yurakucho 2-7-1
Yurakucho Itocia 12F
Phone: +81 (0)3-6860-4756
info@jp.coretechnologie.com

U.S.A.

CoreTechnologie Inc.
20750 Civic Center Drive, Ste 370
Southfield, Michigan 48076
Phone: +1 (248) 996 8464
info@us.coretechnologie.com